感 染 症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第22週)

（令和7年5月26日～令和7年6月1日）

令和７年６月５日

定点報告（上段：定点当り／下段：報告数）

区　分	疾　病　名	2025年 19週	20週	21週	22週	合計	2024年 合計	2023年 合計
定点報告	インフルエンザ	2.20	1.40	2.20	0.80	－	－	－
		11	7	11	4	1,035	2,570	3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.00	1.20	1.60	－	－	－	－
		5	6	8	0	780	2,596	1,698
	ＲＳウイルス感染症	0.33	－	1.67	0.33	－	－	－
		1	0	5	1	28	104	110
	咽頭結膜熱	－	－	－	0.33	－	－	－
		0	0	0	1	16	104	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	4.67	3.33	2.67	－	－	－
		9	14	10	8	191	240	176
	感染性胃腸炎	4.00	7.33	3.67	3.33	－	－	－
		12	22	11	10	404	696	1,023
	水痘	0.33	－	0.67	0.33	－	－	－
		1	0	2	1	25	29	28
	手足口病	－	－	0.33	－	－	－	－
		0	0	1	0	10	973	132
	伝染性紅斑	3.33	7.33	3.00	1.00	－	－	－
		10	22	9	3	402	43	3
	突発性発しん	0.33	－	0.33	1.33	－	－	－
		1	0	1	4	25	81	100
	ヘルパンギーナ	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	28	188
	流行性耳下腺炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	1	4	2
	急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－
		0	0	0	0	5	6	9
	急性呼吸器感染症(ARI)（定点当り）	47.6	64.40	56.60	66.00			
全数報告	結核	0	0	0	0	3	8	2
	百日咳	3	4	2	3	25	5	4

出典：福島県感染症発生動向調査週報(ＩＤＷＲ)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中	伝染性紅斑
流行注意	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎　、　感染性胃腸炎　、　水痘（全国的に増加傾向）

【百日咳について】

今週は３件報告がありました。**10代以下を中心に感染が続いています。**百日咳菌に感染することによる、急性の気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、菌が付着して間もない手や物を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、かぜ症状で始まり、次第に特有の顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み(スタッカート)、ヒューと音を立てて息を吸う発作(ウープ)となります。学校保健安全法では、特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とされています。学校や職場等での集団発生に注意が必要です。**特に、乳幼児は重症化のおそれがありますので、定期予防接種が有効です。**

福島県県中保健福祉事務所（福島県県中保健所）